

# 『透明文字盤と口文字』 研修会に参加して

副支部長 佐川 優子

今年度、NPO 法人 iCare ほっかいどう主催の『透明文字盤と口文字』研修会で透明文字盤の実践講師をしています。

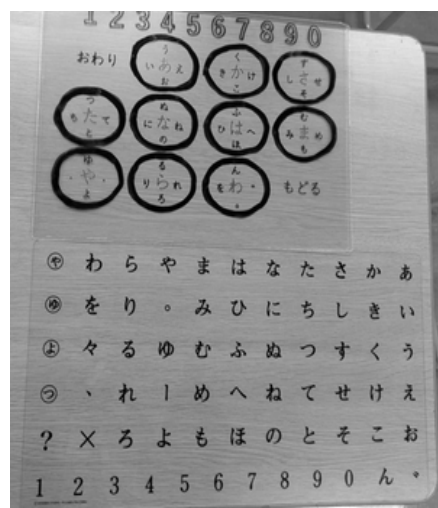
研修に参加された皆さんに、実際に文字盤を使って文字を読み取ってもらいます。

私が使っているのは五十音の透明文字盤です。ほかにフリック式や単語を並べた文字盤もあります。それぞれ使いやすい文字盤を選びます。また、さらに使いやすいように改良を加えることもあります。

文字盤を使用するとき、私たち利用者と読み手が文字盤を挟んで真正面に向き合います。利用者が見つめる文字が、利用者と読み手の視線が一直線になる場所に、文字盤を動かします。

そうして、一文字一文字読み取っていきます。

文字盤の操作にも、読み取りにも慣れと練習が必要です。大事なのは、先読みや決めつけをしないこと。しかし、想像力を働かせることも必要です。



上がフリック式 下が50音式



意思伝達的手段はたくさんあります。センサーや視線入力を使った意思伝達装置はとても便利です。パソコンを使用してメールやブログなどいろいろなことができます。しかし、口文字と文字盤の良いところは電源が必要ないこと、場所を選ばないことです。災害時にも大いに役に立ちます。

なるべく早く、まだ意思を簡単に伝えることができるうちから練習をすることをお勧めします。私は、口文字を覚えようとしたのが遅かったので後悔しています。

意思を伝えるということは、とても大切です。

みなさんもぜひ、研修会に参加してください。

